

## 研究発表会開催通知

(昭和 62 年 11 月 15 日～12 月 31 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
データベース・システム	11月16日(月)	10:30～16:30	筑波 研究センター	前号参照
情報システム	11月17日(火)	13:00～17:30	慶 大	同上
知識工学と人工知能	11月18日(水)	14:00～17:00	東大・駒場	同上
コンピュータビジョン	11月19日(木)	13:30～16:30	KDD 上福岡研	同上
自然言語処理	11月20日(金)	9:00～17:00	福 岡 大	同上
ソフトウェア工学	11月25日(水)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
マイクロコンピュータ	12月1日(火)	10:30～17:00	九 工 大	下記参照
オペレーティング・システム	12月4日(金)	10:30～16:30	機械振興会館	同上
数 値 解 析	12月4日(金)	13:30～17:00	同上	同上
ソフトウェア基礎論	12月10日(木)	9:10～16:40	同上	同上
設 計 自 動 化	12月17日(木) 12月18日(金)	9:00～16:45 9:00～15:30	NTT (広島)	同上
プログラミング言語	12月18日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	同上

### ◆ 第 47 回 マイクロコンピュータ研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 若鳥陸夫, 幹事: 岡田義邦, 森本陽二郎, 山田 剛)

- 日 時** 昭和 62 年 12 月 1 日 (火) 午前 10 時半～午後 5 時
- 会 場** 九州工業大学工学部 情報工学科 (戸畑キャンパス)  
〔北九州市戸畑区仙水町 1-1, JR 鹿児島本線: 新中原下車徒歩 5 分, 西鉄バス:  
工大前下車 2 分 (小倉駅前より 92, 93, 94 番バス). Tel. 093 (871) 1931〕
- 議 題** **10:30～12:00 (2 件)**
- (1) 80286 をプロセッサエレメントとするメモリ共有型並列処理システムの  
開発 大島龍博, 都志見圭一, 有田五次郎 (九工大・工)  
〔概要〕 80286 のメモリ管理機能を用いてアドレス空間を拡張したメモリ共有型  
並列処理システムとその OS について述べる.
- (2) 可変構造並列計算機の構想  
村上和彰, 福田 晃, 末吉敏則, 富田眞治 (九大・総理工)  
〔概要〕 動的に再構成可能な相互結合網を有し, 種々の結合形態の精度の良いシ  
ミュレーションを可能とするマルチマイクロプロセッサを開発しているの  
で, そのシステム構想を述べる.
- 13:00～17:00 (4 件)**
- (3) 衝突回避へのトランスペュータの応用 元村直行 (安川電機)

〔概要〕 複数のコンピュータ上にインプリメントされた2腕の協調作業システムとその衝突回避の動作について述べる。

(4) 真空ロボットコントローラとオンラインプログラミングシステム

横山和彦, 野林繁美, 脇迫 仁 (安川電機)

〔概要〕 クリーン/真空などの特殊環境下で使われるロボットコントローラのソフト/ハードの概要と開発環境について述べる。

(5) 視覚依存型移動ロボットの開発

木戸 淳, 郷原孝一, 井手浩一, 石川聖二, 加藤清史 (九工大・工)

〔概要〕 テレビカメラからの画像を処理して外界を認識しながら移動を行うマイコンベースの移動ロボットの開発について述べる。

(6) プロセス制御用マイコンのテスト記述言語 竹中一起 (住友金属)

〔概要〕 プロセス制御用マイコンの結合テストを自動化するテスト言語を開発した。大規模分散型システムも扱えるのが特徴。

◆ 第37回 オペレーティング・システム研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 亀田壽夫, 幹事: 紀 一誠, 野口健一郎)

日 時 昭和62年12月4日(金) 午前10時半~午後4時半

会 場 機械振興会館 6階 65号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線 神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 10:30~12:30 (2件)

(1) 複数のオペレーティングシステム環境とターゲットマシンリンクシステムの開発  
三上 理, 八木橋信一 (日電)

真鍋和久, 須堯一志 (日本電気技術情報システム開発)

〔概要〕 複数の OS 利用環境を検討し, その一例としてユーザインタフェースの統一を実現するシステムについて報告する。

(2) 富士通のマイクロ・メインフレーム・リンク・アーキテクチャ

須田智紀 (富士通)

〔概要〕 システム統合アーキテクチャ SIA について, マイクロ・メインフレーム・リンクを中心に述べる。

13:30~16:30 (3件)

(3) 高セキュリティ化を目的とした多重仮想ファイルシステム管理方式

西門 隆, 近藤 恵, 福岡和彦 (日立 シ研)

〔概要〕 メモリ管理における多重仮想技術をファイル管理に応用し, “ファイル名称空間” を多重化して高セキュリティを実現した。

(4) 分散オペレーティング・システム GEM について

南山智之 (東洋通信機)

〔概要〕 トランスペュータによるマルチプロセッサ上に分散オペレーティング・システムを開発したので報告する。

(5) Experience with Chrysalis/Butterfly 大上貴英 (三菱電機)

〔概要〕 並列処理プロセッサ Butterfly の OS である Chrysalis の使用経験と問題点について述べる。

## ◆ 第23回 数値解析研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 森 正武, 幹事: 唐木幸比古, 野寺 隆, 福井義成)

日時 昭和62年12月4日(金) 午後1時半~5時  
 会場 機械振興会館 地下3階 2号室(所在地は前記参照)  
 議題 特集: グリッドジェネレーション

- (1) 流れのシミュレーション 桑原邦郎(宇宙科学研)  
 [概要] 差分法によって, いろいろな形状の物体を過ぎる流れを解いた例を紹介し現在のスーパーコンピュータでどの程度流れのシミュレーションが可能になったかを示す.
- (2) Boundary-Fit 法による流体・電磁解析 三木一克(日立)  
 [概要] 航空機の流体解析法として開発された Boundary-Fit 法の特徴と, 複雑・多様化した熱流体機器, 電子機器への応用例を説明する.
- (3) 流れの計算のための格子生成 中橋和博(航空宇宙技術研)  
 [概要] 複雑形状まわりの流れを差分法や有限要素法で解くとき, 計算効率と解の信頼性を高めるのに有効な格子生成について示す.
- (4) 数値等角写像における Theodorsen 方程式の解法  
 宋 殷志, 杉浦 洋, 桜井鉄也(名大・工)  
 [概要] 等角写像における Theodorsen の方程式のいくつかの解法を比較検討する. また, その実用化について述べる.

## ◆ 第23回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 廣瀬 健, 幹事: 佐々政孝, 所真理雄, 新田克己)

日時 昭和62年12月10日(木) 午前9時10分~午後4時40分  
 会場 機械振興会館 地下3階 研修1号室(所在地は前記参照)  
 議題 特集: 並行・分散処理

9:10~11:40 (4件)

- (1) 分散ファイルシステムの比較と問題点  
 中島達夫, 所真理雄(慶大・理工)  
 [概要] 他の分散ファイルシステムと比較したときの NFS の問題点を検討し, 新しい分散ファイルシステム作成の指針を述べる.
- (2) オブジェクトのネットワークによる文脈自由文法の並列構文解析  
 米澤明憲, 大沢一郎(東工大・理)  
 [概要] 並行に動作する agent のネットワークで文法規則を表現する構文解析の枠組みについて述べる.
- (3) 並列オブジェクト指向言語処理系の実現方式の導出  
 一プログラム変換に基づくアプローチ  
 柴山悦哉(東工大・理)  
 [概要] 並列オブジェクト指向言語処理系の分散実現方式を, プログラム変換の考え方に基づいて導く(あるいは検証する)方法について考察する.
- (4) 並列協調型システム Harmonia の構成と機能  
 尾内理紀夫, 鶴岡行雄(NTT 通研)

〔概要〕 複数の AI ワークステーションからなる並列協調型問題解決システムの構成と機能について述べる。

**13:00~16:40 (6件)**

(5) 確率的要素を取り扱うためのメッセージパッシングの拡張

小林真也 (阪大), 渡辺 尚 (徳島大), 真田英彦, 手塚慶一 (阪大)

〔概要〕 確率的な要素を含む通信を扱うための UNKNOWN 型のメッセージパッシングの追加について述べる。

(6) プログラム群を並行処理するシステムの一評価方式

J. Chanintorn (阪大), 渡辺 尚 (徳島大), 中西 暉 (阪大)

〔概要〕 異なる並列性を持ち, それが時間とともに変化するプログラム群の解析について述べる。

(7) 分散ネットワークにおけるリンク故障診断について

増澤利光, 萩原兼一, 都倉信樹 (阪大)

〔概要〕 ネットワークで, 一つのプロセッサが自分に接合するリンクの一つの故障を診断する問題について考察する。

(8) 並列論理型計算機システムにおける負荷分散法について

神田陽治 (富士通), 田中二郎 (ICOT)

〔概要〕 並列マシン上でマルチタスクをじょうずに達成する仕組みを考察する。

(9) 効率的時間論理証明システムの構成

米崎直樹, 端山 毅 (東工大)

〔概要〕 並列処理システムの検証においても有効な時間論理式の証明における種の効率化の手法について考察する。

(10) 同時書込を許す PRAM の計算時間の下限について

岩間一雄 (京産大)

〔概要〕 同時書込を許す PRAM の計算時間の下限が定数でおさえられないような関数についての一結果を報告する。

※ 今回の研究会は電子情報通信学会 (コンピュータシミュレーション研究会, ソフトウェアサイエンス研究会) との共催で開催されます。上記会告は **10月20日**現在の申込みによるもので, プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 **11月号**に掲載されますので, ご了承ください。

◆ **第40回 設計自動化研究会**

(発表件数: 19件)

(主査: 樹下行三, 幹事: 安藤 宏, 井上隆秀, 川西 宏)

**日 時** 昭和62年12月17日(木) 午前9時~午後4時45分

18日(金) 午前9時~午後3時半

**会 場** NTT (広島中央支社) 袋町ビル 6階 会議室

(広島市中区袋町 6-11, JR: 広島下車, 市電3番 (宇品行) 袋町下車 (日本銀行を入り, 袋町小学校隣 約25分). Tel. 082 (226) 3338)

**議 題** **12月17日(木) 9:00~12:00 (5件)**

(1) 大規模多層ゲートアレイの配線手法

石塚昭夫, 野田茂生, 西口信行 (日電)

〔概要〕 4層, 100Kゲートまでのゲートアレイに適用可能な配線手法について

報告する.

- (2) ゲートアレイにおける未結線ネットのための概略配線アルゴリズム  
 磯本和典, 藤井隆志, 菊野 亨, 吉田典可 (広大・工)  
 [概要] ゲートアレイチップにおける未結線ネットに対して, 配線混雑度を考慮した概略配線アルゴリズムを提案する.
- (3) モジュールの再利用を考慮したフロアプラン設計手法の提案  
 大村道郎, 出本 浩, 藤井隆志, 菊野 亨, 吉田典可 (広大・工)  
 [概要] ソフトモジュールとハードモジュールから構成されるチップに対して, フロアプラン設計手法を提案する.
- (4) シンボリック設計システム CAMEL のマクロセル設計への適用  
 宮下 弘, 小野沢晃, 上田和宏 (NTT 通研)  
 [概要] シンボリック設計システム CAMEL のマクロセル設計への適用結果について述べる.
- (5) Generalized Manhattan Path Algorithm with Applications  
 浅野哲夫 (大阪電通大)  
 [概要] ピアが配線幅に比べ非常に大きい2層配線問題で, 2つの端子を  $O(n \log n)$  時間で結ぶアルゴリズムを提案する.

**13:00~15:30 (4件)**

- (6) EWS によるプリント基板用高機能アートワークシステムの開発  
 泉 正夫, 前田友行, 森野雅義, 杉尾晃正 (沖電気)  
 [概要] 各種アートワークデータの自動生成手法を中心に EWS 上に構築した製造設計システムについて報告する.
- (7) 回路モジュールの入出力動作を利用した論理シミュレータ  
 井下順功, 橋爪正樹, 為貞建臣 (徳島大・工)  
 [概要] 回路モジュールの各動作モード時に要求される入出力動作を利用した論理シミュレータについて述べる.
- (8) 論理シミュレーション専用マシン SP のアーキテクチャ  
 広瀬文保 (富士通研)  
 [概要] 大型論理装置の設計全体を一括して超高速に検証する専用マシン SP のアーキテクチャについて述べる.
- (9) ラップトップ PC 上の機能シミュレータ: PC-FAL  
 市村 徹, 木暮 誠, 矢野栄一, 山岸邦彦, 関根優年 (東芝)  
 [概要] ラップトップ コンピュータ (J3100) 上に開発した機能シミュレータ PC-FAL の評価結果を報告する.

**15:45~16:45**

- (10) 特別講演: コンピュータグラフィックスとその応用  
 中前栄八郎 (広大・工)

※ 特別講演終了後, 懇親会を企画しております. 多くの方々のご出席をお願いいたします.

**12月18日(金) 9:00~12:00 (5件)**

- (11) 標準 IC/PLD 回路から LSI 回路を生成するシステム TL/C

井川 智, 岡崎 薫, 宮崎守弘 (松下電器)

〔概要〕 標準 IC/PLD 回路図を基に変換を行い原回路図類似の簡約化された LSI 回路図面を生成する.

(12) 同期制御信号にもとづくタイミング検証

藤本徹哉, 野田浩明, 神戸尚志 (シャープ)

〔概要〕 同期式回路の誤動作の原因の一つである同期誤りを, 制御信号系の解析にもとづく論理シミュレーションで検出する.

(13) テスト不能故障抽出のための一手法

邊保 久, 牛久保政憲, 菊地原秀行, 村上道郎 (沖電気)

〔概要〕 故障シミュレーションのパフォーマンスを劣化させるテスト不能故障の抽出手法およびその効果について述べる.

(14) 組合せ回路におけるテスト生成の効率化手法 宮沢 浩 (ソニー)

〔概要〕 検査入力生成と故障シミュレーションを統合した効率の良いテスト生成手法について述べる.

(15) スキャン構造を意識したテストパターン生成

野田浩明, 松本敏行, 藤本徹哉, 神戸尚志 (シャープ)

〔概要〕 同期式回路に対しテストパターンの生成過程でスキャン構造をあわせて生成し, テスタビリティを向上させる.

13:00~15:30 (4件)

(16) X 409 支援システムの考察

安部伸治, 中村能章, 中川 透 (NTT 通研)

〔概要〕 CCITT 勧告 X. 409 形式のプロトコルを用いたシステムの, 設計およびデバッグを支援するツールを作成した.

(17) 時間記号シミュレーションについて 石浦菜岐佐, 矢島脩三 (京大・工)

〔概要〕 時間を記号として扱う新しい記号シミュレーションの手法, 及びこれを用いたタイミング検証について述べる.

(18) 論理関数のグラフ表現を用いた記号シミュレーション

北嶋雅哉, 高木直史, 矢島脩三 (京大・工)

〔概要〕 論理関数のグラフ表現とグラフの共有による効率的な演算法を用いた記号シミュレーションについて述べる.

(19) Tokio による論理設計支援システム

藤田昌宏, 藤沢久典 (富士通研), 中村 宏, 田中英彦 (東大・工)

〔概要〕 時相論理型言語 Tokio を中心とした, 動作と構造の両データを統一して管理・支援するシステムについて述べる.

※ 今回の研究会は電子情報通信学会 (VLSI 設計技術研究会) との共催で行います.

## ◆ 第 14 回 プログラミング言語研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 斉藤信男, 幹事: 石畑 清, 寛 捷彦, 安村通晃)

日 時 昭和 62 年 12 月 18 日 (金) 午後 1 時~5 時  
会 場 機械振興会館 地下 3 階 研修 2 号室 (所在地は前記参照)  
議 題 (1) 動的な制御集合をもつ文法について

山田 攻, 石田純一, 寄松史士 (室蘭工大), 野口正一 (東北大・通研)

〔概要〕 言語導出の過程で制御集合の要素を動的に変更できる能力をもつ文法モデルとその構文解析法について述べる。

(2) スーパーコンピュータのための言語処理システム

中島茂樹, 堀田耕一郎, 神谷幸男 (富士通)

〔概要〕 スーパーコンピュータ FACOM VP シリーズを例にして, 当社の並列処理向き言語処理システムについて報告する。

(3) スーパーコンピュータ上の並列論理型言語処理系

辰口和保, 村岡洋一 (早大・理工)

〔概要〕 OR 並列・制限 AND 並列実行方式によるスーパーコンピュータ上の論理型言語インタプリタについて述べる。

(4) 並列オブジェクト指向言語 KL 1-U (仮称)

吉田かおる, 近山 隆 (ICOT)

〔概要〕 並列推論マシンのユーザ言語として設計された並列オブジェクト指向言語 KL 1-U (仮称) について述べる。

(5) ImPP 用高級言語 Stream

太田 誠 (日電)

〔概要〕 画像処理用データフロープロセッサ ImPP のための高級言語 Stream の設計とそのコンパイラについて報告する。

## 学会誌送本先の住所等の変更届について (お願い)

勤務先, 自宅住所に異動のある方は, 必ず所定の「変更連絡届」用紙 (10月号末尾に添付) にて氏名, 会員番号を付し, 早急にご連絡ください。なお, 異動の受付は毎月20日に締切り, 翌月号から変更いたします。21日以降受付分の変更は翌々月号からとなります。

## 「アドバンスト・データベース・システム」 シンポジウム開催について

日 時 昭和 62 年 12 月 3 日(木)～4 日(金)  
場 所 機械振興会館ホール (地下 2 階)  
参 加 費 会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円  
(論文集のみ 3,000 円, 送料 400 円)  
申込締切 昭和 62 年 11 月 20 日(金) (プログラムおよび申込書は前号にあります.)

## 「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

日 時 昭和 62 年 12 月 10 日(木)～11 日(金) 9:00～18:00  
場 所 機械振興会館ホール (地下 2 階)  
参 加 費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円  
(論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)  
申込締切 昭和 62 年 11 月 30 日(月) (プログラムおよび申込書は前号にあります.)

## シンポジウムの論文募集について

下記シンポジウムがそれぞれ論文を募集中です。奮ってご応募ください。なお、詳細については前号本欄をご参照ください。

### 「計算機システムのヒューマンインタフェース —モデル・評価・展望—」シンポジウム

日 時 昭和 63 年 4 月 13 日(水)～14 日(木) 9:30～17:00  
場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)  
発表申込締切 昭和 62 年 12 月 1 日(火)

### 「コンピュータアーキテクチャ」シンポジウム

日 時 昭和 63 年 5 月 17 日(火)～18 日(水) 10:00～17:00  
場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)  
発表申込締切 昭和 63 年 1 月 29 日(金)

## 「第 29 回プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書（前号本欄に掲載）に記入の上、お申し込みください。

### 記

**日 時** 昭和 63 年 1 月 12 日(火) 午後 1 時～14 日(木) 午後 1 時  
**場 所** 箱根ホテル小涌園（神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297）Tel. 0460（2）4111  
**参加費**（予稿集代、宿泊費を含む。カッコ内は非会員参加費）  
 ☆大学院学生 23,000 円（26,000 円）  
 ☆大学助手以上、研究所関係者 30,000 円（35,000 円）  
 ☆会社関係者 35,000 円（40,000 円）  
**申込締切** 昭和 62 年 11 月 30 日(月)  
 （申し込みの詳細につきましては、前号本欄をご参照ください）

### ..... プ ロ グ ラ ム .....

#### 第 1 日 1 月 12 日(火)

- 開会の辞 (13:00～13:10) 米田委員長  
 セッション 1 (13:10～15:10)  
 ・並行プログラム用デバッグ mimsy のユーザ・インタフェース  
 小松 克行, 小田 辰夫, 山田 剛, 小原 啓義 (早大)  
 ・CLU マシンのユーザ・インタフェース 佐藤 直樹, 関 啓一, 久野 靖,  
 鈴木 友峰, 中村 秀男, 二瓶 勝敏, 明石 修 (東工大)  
 ・パソコンでもできる移植可能な実習用アセンブラ 大駒 誠一, 今井 誠司 (慶大)  
 ——休憩 (15:10～15:40)——  
 セッション 2 (15:40～17:30)  
 ・発想・概念形成支援ツール KJ エディタ  
 小山 雅庸, 河合 和久, 大岩 元 (豊橋技科大)  
 ・日本語文章推敲支援ツール「推敲」のパソコン上での実現と使用  
 倉田 昌典, 牛島 和夫 (九大)

#### ★〔報告〕

- ・夏のシンポジウム報告 和田 英一 (東大)  
 ・若手の会報告 梶原 洋一 (山梨大)  
 ・GPCC 報告 小谷 善行 (農工大)  
 ・山内賞報告 山内記念会

——夕食 (18:00～19:00)——

○自由討論, マイコンデモ

#### 第 2 日 1 月 13 日(水)

- セッション 3 (9:00～10:20)  
 ・カスタマイズを重視したユーザ・インタフェース・マネジメント・システム(仮)

横井 伸司 (日本 IBM)

- ・階層的モジュール構造に基づいたソフトウェア開発用データベース機能

岸 知二 (日電)

——休憩 (10:20~10:40)——

セッション4 (10:40~12:00)

- ・流れて行かない Unix 環境の評価 角田 博保 (電通大), 久野 靖 (東工大)
- ・SUN 上の PDS による日本語環境 半田 剣一, 小方 一郎 (電総研)

——昼食 (12:00~13:00)——

★招待講演 (13:00~14:00)

- ・メタフィジカル・マシンの汗をかかない画家と油のいらぬキカイ

藤幡 正樹 (コンピュータ・グラフィックス・アーティスト)

——休憩 (14:00~14:30)——

セッション5 (14:30~15:50)

- ・Coupled Context Free Grammar に基づくプログラミング言語の実行方式について  
(その2 ボトムアップの場合) 山下 義行, 中田 育男 (筑波大)
- ・CSP プログラムの  $\lambda$  行為への翻訳とその応用 山中顕次郎 (筑波大)

——休憩 (15:50~16:10)——

セッション6 (16:10~17:30)

- ・仮説ネットワークを用いた仮説推論器  
飯島 泰裕, 成田 良一, 吉田 裕之, 泉 寛幸 (富士通研)
- ・依存伝播 橋田 浩一 (電総研)

——夕食 (18:00~19:00)——

○自由討論, マイコンデモ

第3日 1月14日(木)

セッション7 (9:00~10:20)

- ・多面体の合同判定問題に関する考察 古川 進, 郭 玫青 (山梨大)
- ・数式処理システム GAL における数学公式データベース

佐々木健昭 (理研), 増永 良文, 三枝 義典 (情報大),

阿部 昭博, 元吉文男 (富士通), 佐々木睦子 (理研)

——休憩 (10:20~10:40)——

セッション8 (10:40~12:00)

- ・共通楽譜データ構造の設計  
山崎 直子, 佐野靖子, 渡辺哲史, 高田 正之, 小谷 善行 (農工大)
- ・音楽処理の2つの試み 白川 貴浩, 富塚 英省, 五十嵐 滋 (筑波大)

○閉会の辞 (12:00~12:10)

米田委員長

※自由討論, ポスターセッション, マイコンのデモ等を行います。参加ご希望の方はご用意ください。

一般講演は, 発表 25 分, 討論 15 分, また招待講演は講演 45 分, 質問 15 分を予定しています。なお, 日程については若干の変更があるかもしれません。

## 「1988 情報学シンポジウム」開催について

9月号本欄でお知らせしました標記のシンポジウムを行います。定員に制限がありますので早目にお申込みください。

日 時 1988年1月19日(火)～20日(水) 9:30～17:00

場 所 日本学術会議講堂(地下鉄千代田線乃木坂駅下車)

参加費(資料代として) 会員 5,000円 学生 1,500円 一般 7,000円

懇親会 会場 健保会館(地下鉄千代田線乃木坂駅下車)

会費 3,000円

申込締切 昭和62年12月28日(月)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第1日 1月19日(火)

基調講演 (9:30～10:30)

司会 坂井 利之(京大)

- ・ 学術情報の現状と展望

猪瀬 博(学術情報センター)

セッション1 基礎 (10:50～12:20)

座長 大須賀節雄(東大)

- ・ フェージ積分による知識情報システム設計

立田 ルミ(独協大), 三重野博司(東理大)

- ・ 知識構造モデリング

大内 東, 加地 郁夫(北大)

- ・ 汎科学技術情報システム圏の構築—理念と方法—

北川 敏男(富士通・国際研)

特別講演1 (13:30～14:20)

司会 藤原 譲(筑波大)

- ・ 情報における対立と統合

榎本 肇(富士通・国際研)

セッション2 整備・流通1 (14:40～15:40)

座長 真名垣昌夫(日電)

- ・ 事実データを対象とした知識ベース実験システム

等々力正文(鉄道総研)

- ・ 発想支援ツール KJ エディタの設計と試作

小山 雅庸, 河合 和久, 大岩 元(豊橋技科大)

セッション3 整備・流通2 (16:00～17:00)

座長 中村 史朗(日立)

- ・ 研究者のための画像処理教育用エキスパートシステム

塩野 充(岡山理大)

- ・ プログラムライブラリとその案内システム

秦野 甯世(中京大), 二宮 市三(中部大)

#### 第2日 1月20日(水)

特別講演2 (9:30～10:20)

司会 橋本 昭洋(NTT)

- ・ ATR における電気通信の基礎研究

葉原 耕平(ATR)

セッション4 応用 (10:40～12:10)

座長 伊藤 隆太(東邦大)

- ・ 高度利用を目的とする自然言語医療情報の体系的分析

横田 将生(九大)

- ・ 癌研究を支援する分子知識ベースの開発思想

神沼 二真(都臨床研)

- ・ 考古学遺跡データ作成試行の経過とその課題

武藤 康弘(東大), 八重樫純樹(歴史民俗博), 小林 達雄(国学院大)

特別講演3 (13:30～14:20)

司会 中井 浩(常磐大)

- ・ 機械翻訳の進展とその基礎となる言語工学について

長尾 真(京大)

セッション5 パネル討論 (14:40~16:10)

・本格的材料データシステムの構築に向けて 司会 三島 良績 (東大名誉教授)

パネラー 堂山 昌男 (名大), 佐々木慎一 (豊橋技科大), 大須賀節雄 (東大)

山崎 昶 (電通大), 弘岡 正明 (住友化学), 岩田 修一 (東大)

総括 (16:10~16:30) 司会 藤原 鎮男 (神奈川大), 米田 幸夫 (東海大)

「1988 情報学」シンポジウム

参加申込書

昭和 62 年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

会員 5,000 円 一般 7,000 円 学生 1,500 円 (資料代として)

○論文集のみ (上記資料代プラス送料 300 円) 冊

○懇親会参加費 3,000 円

○送金方法

\_\_\_\_\_円を \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. )

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通  
請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

## 「利用者指向の情報システム～情報システムの設計と構築～」 シンポジウム論文募集

情報システムの開発については、種々の観点から、数多くの方法論が提唱されてきました。従来は、情報システムの開発工程面から見ると、詳細設計ないしプログラミング、テストのフェーズを対象とした、いわゆる後工程の部分に関するものが中心となっていました。しかし、情報システムの計画、分析、概要の設計などについては、工程の初期の段階にあるというばかりでなく、その視点もアプローチも技法も質的に異なります。これら情報システムの設計については方法論の研究も事例の発表例も少なく、なかなかまとまって論議する場もありませんでした。

本シンポジウムでは、情報システムの計画・分析・設計などに関する方法論や、プロジェクトマネジメント、および関連する事項についてその動向、手法など現状を概観し、応用事例を発表するとともに今後の技術動向を展望し、幅広い立場から討論したいと考えています。この問題に関心を持っておられる情報システムの設計者、利用者、情報システム構築の管理者、開発・運用担当者およびこの分野の研究者からの論文を募集します。

日 時 昭和 63 年 6 月 24 日(金) 9:30～17:00  
25 日(土) 9:30～13:00

場 所 機械振興会館研修 1 号室 (地下 3 階)

トピックス

- ・ ニーズをいかに発掘するか
- ・ 設計者と利用者の意思交流をどのように行うか (対話の工夫, 打合わせやネゴの方法, 文書化の工夫など)
- ・ 情報システムをどうモデル化するか
- ・ 情報システムの導入に対するユーザの受けとめ方はどうか, 影響はどうか
- ・ 情報システムは組織・経営にどのような影響を与えた(る)か
- ・ 情報システムをどう設計したか (したらよいか)
- ・ プロジェクトマネジメントをどう行ったか (行えばよいか)

実施方法

- (1) 学術的な研究論文のみでなく、経験事例の報告、問題提起・アイディアの提案、その他種々な性格の論文の応募を歓迎します。
- (2) 応募の方は、アブストラクト (A 4 判用紙で 1 枚) を 1 月 14 日(木)までに提出してください。
- (3) 採否については 2 月 27 日(土)までに連絡します。
- (4) 本論文は原則として和文 (1,548 字詰研究会原稿用紙 10 枚以内) とします。4 月 9 日(土)までに提出してください。
- (5) 採択論文は論文集に収録します。

申 込 先 (社)情報処理学会「利用者指向の情報システム」シンポジウム係  
Tel. 03 (505) 0505

\* なお、本シンポジウムに関するお問合わせは下記までお願いいたします。

情報システム研究会 幹事 岩丸良明 (いわまる よしあき)

連絡先: (株)三井銀総合研究所総合コンサルティング部 Tel. 03 (242) 3143 FAX 03 (242) 4155

## 本会協賛等の行事案内\*

- 講習会「ワークステーションと AI への応用」  
昭和 62 年 12 月 2 日 (水)～4 日 (金) 大阪マーチャндаイズマートビル
- 第二回「大学と科学」公開シンポジウム  
昭和 62 年 12 月 16 日 (水)～63 年 2 月 20 日 (土) 東京・ニッショー・ホール他
- シグナル・システム・コントロール・シンポジウム  
昭和 63 年 1 月 26 日 (火)～27 日 (水) 大阪・なにわ会館
- 講習会「最近のコンピュータ援用エンジン技術」  
昭和 63 年 1 月 21 日 (木)～22 日 (金) 大阪・建設交流館
- SICE 基礎講習会—デジタル制御—  
昭和 63 年 2 月 2 日 (火)～3 日 (水) 東京・日本化学会講堂
- 第 4 回 ソフトウェアコンファレンス  
昭和 63 年 3 月 11 日 (金) 大阪科学技術センター
- 第 2 回 オプトエレクトロニクス・コンファレンス  
昭和 63 年 10 月 3 日 (月)～5 日 (水) 東京工業大学
- 第 12 回 構造工学における数値解析法シンポジウム  
昭和 63 年 7 月 18 日 (月)～20 日 (水) 東京・建築会館ホール
- 合宿セミナー「画像処理の基礎と応用」  
昭和 62 年 11 月 26 日 (木)～28 日 (土) 熱海ビレッジ
- 第 7 回 シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス  
昭和 63 年 6 月 21 日 (火)～22 日 (水) 大阪科学技術センター
- コンピュータ・ビジョンに関する IAPR ワークショップ  
昭和 63 年 10 月 12 日 (水)～14 日 (金) 東京・日本大学会館
- 第 2 回 情報処理相互運用国際シンポジウム  
昭和 63 年 11 月 10 日 (木)～11 日 (金) 東京・科学技術館

\*詳細は本号会議案内欄参照

## 日本学術会議第14期会員の候補者推薦について

日本学術会議会員は、各学会が推薦した候補者のうちから選定されます（9月号 p. 1233 日本学術会議だより欄参照）。

つきましては、下記要領により、会員の候補者として適切な方のご推薦をお願いいたします。なお、ご推薦いただいた候補者につきましては、理事会で選定のうえ、本会の会員候補者として日本学術会議に推薦します。

### 記

#### 1. 日本学術会議法による学術会議会員の候補者の資格等

##### (1) 日本学術会議会員は、

- その専門とする科学または技術の分野において5年以上の研究歴を有し、当該分野における優れた研究または業績がある科学者でなければならない。
- 通じて9年を超えて在任することができない。ただし、任期の途中において9年に達したときは、その任期の終了するまでの間、在任することができる。
- 日本国籍を有しないものは、会員になれない。

##### (2) 日本学術会議会員候補者は、

- 登録学術研究団体が、その構成員である科学者のうちから選定する。  
(本会は登録学術研究団体)

#### 2. 推薦者の資格

本会正会員に限る。

#### 3. 推薦候補者数

情報工学（第5部）、情報学（第4部）、電子・通信工学（第5部）について、本会正会員の中から各1名以内。

#### 4. 推薦方法

下記の推薦用紙に所定の事項を記入し、本会事務局長あてに郵送すること。

#### 5. 推薦締切日 昭和62年11月30日（月）

.....きりとり.....

### 第14期日本学術会議会員の候補者推薦用紙

候補者氏名 (所属機関・職名)	情報工学(第5部)	
	情報学(第4部)	
	電子・通信工学(第5部)	
推薦者 住所・氏名 (連絡先電話番号)	正会員	

## 支 部 だ よ り

### 関 西 支 部

#### セミナー開催について

「情報通信ネットワーク標準化 (OSI) の動向と対応」をテーマとして、下記によりセミナーを開催します。多数の方々の参加をお願いします。

期 日 昭和 62 年 11 月 27 日 (金)～28 日 (土)  
会 場 大阪国際交流センター他  
参 加 費 18,000 円  
申 込 先 〒530 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第 1 ビル 8 階 (財)関西情報センター気付 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2541

#### プログラム

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| ● OSI の現状と動向             | 棟上 昭男 (電総研)   |
| ● OSI 関連技術と開発動向          | 丸山 好一 (INTAP) |
| ● コモンキャリアにおける OSI 実用化の動向 | 宮沢 正幸 (N T T) |
| ● 試験検証技術と制度              | 岩松 聡 (INTAP)  |
| ● MAP の現状と課題             | 塚本 享治 (電総研)   |
| ● MAP 概説                 | 是友 春樹 (富士通)   |
| ● OSI 製品                 | 浦野 義頼 (K D D) |
| ● 特許庁における電子出願標準仕様について    | 赤川 誠一 (特許庁)   |

#### 支 部 大 会 案 内

期 日 昭和 62 年 12 月 11 日 (金) 10 : 30～16 : 30  
会 場 中央電気倶楽部  
参 加 費 無 料  
問 合 せ 先 (財)関西情報センター気付 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2541

#### プログラム

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| ● 支部長あいさつ                     | 牧之内三郎 (帝国女子大)                          |
| ● 記念講演「教室に入ってきたパソコン」          | 都倉 信樹 (阪大)                             |
| ● 研究会報告                       | 一松 信 (京大), 石桁 正士 (大阪電通大), 飯田 記子 (京大)   |
| ● パネル討論「情報処理教育—学校の立場, 企業の立場—」 | 司会 石桁 正士 (大阪電通大)                       |
| パネラ                           | 北橋 忠宏 (阪大), 対馬 勝英 (大阪電通大), 小林 旭 (アイネス) |
|                               | 豊田 武彦 (住金), 飯塚 宏紀 (富士通)                |
| 特別討議者                         | 北川重太郎 (甲南大), 鍵谷 誠一 (東洋情報システム)          |

#### 九州支部情報処理九州シンポジウム

高度自然言語処理に関するシンポジウムを下記により開催します。多数の方々のご参加をお願いします。なお、プログラムは 8 月号, 参加申込書は 9 月号本欄にあります。

日 時 昭和 62 年 11 月 19 日 (木) 9:50~17:00  
 会 場 公立学校共済組合「福岡リーセントホテル」  
 (福岡市東区箱崎 2-52-1 東区役所横)  
 参 加 費 会員 5,000 円 (学生 1,500 円), 一般 7,000 円 (学生 2,500 円)  
 論文集代 (1,000 円) を含む。  
 定 員 130 名  
 連 絡 先 〒 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部中央計数施設内  
 情報処理学会九州支部事務局 Tel. 092 (641) 1101 (内線 5985 (仲田))

### 中 部 支 部

#### 見学会の開催について

期 日 昭和 62 年 11 月 20 日 (金)  
 見 学 先 NTT 品川 TWINS ビル (東京都港区南 1-9-1)  
 インテリジェントビル (TOWARD INS) の施設, 機能の見学  
 集 合 場 所 現地 (JR 品川駅, 東口下車, 徒歩 3 分) 12 時 50 分 (時間厳守)  
 交 通 費 自己負担 (支部より 6,000 円補助)  
 定 員 40 名 (定員になり次第締切ります。)  
 申 込 方 法 参加希望者は電話にて問合せのうえ, 官製はがきに氏名, 勤務先, 部課名,  
 連絡先住所 (電話番号) を明記して下記宛申込みください。  
 参加確定者には, 参加証, 集合場所案内図, 予定表をお送りします。  
 申 込 先 〒464 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部情報工学科第 2 講座内  
 情報処理学会中部支部 Tel. 052 (781) 5111 (内線 5803)

### 専 門 講 習 会

期 日 昭和 62 年 11 月 18 日 (水), 19 日 (木)  
 会 場 名古屋市公会堂 (4 階) 第 7 集会室 (名古屋市昭和区鶴舞 1-1-3)  
 テ ー マ 計測・制御へのコンピュータ適用技術 (プログラムは 9 月号本欄参照)  
 参 加 費 会員 10,000 円 (学生 5,000 円), 一般 15,000 円. 定員 120 名  
 テキストのみの申込みは受けません。  
 問 合 せ 先 〒 464 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内  
 電気学会東海支部 Tel. 052 (781) 2222

### 講 演 会

期 日 昭和 62 年 11 月 30 日 (月) 14:00~16:00  
 会 場 信州大学工学部 (長野市若里 500)  
 演 題 ソフトウェアの設計とプログラミングの自動化 松本 正雄 (日 電)  
 参 加 費 無 料 (参加資格は問いません。)  
 問 合 せ 先 信州大学工学部情報工学科 海尻賢二 Tel. 0262 (26) 4101 (内線 3711)

### 講 演 会

期 日 昭和 62 年 12 月 17 日 (木) 11:40~12:30

会場 岐阜大学工学部 (岐阜市柳戸 1-1)  
演題 ニューロコンピュータと神経情報システム 臼井 支朗 (豊橋技科大)  
参加費 無 料 (参加資格は問いません).  
問合せ先 岐阜大学工学部電子工学科 後藤宗弘 Tel. 0582 (30) 1111

中国四国支部

講 演 会

期 日 昭和 62 年 11 月 18 日 (水) 13:30~15:30  
会 場 岡山大学工学部大講義室 (岡山市津島中 3-1-1)  
演 題 科学技術計算と計算機シミュレーション—有限要素法から  
計算力学そして計算支援工学への発展— 川井 忠彦 (東京理科大)  
参加費 無 料 (参加資格は問いません).  
問合せ先 広島大学工学部第二類 (電気系) 内 情報処理学会中国四国支部 中村庚二  
Tel. 0824 (22) 7111 (内線 3443)

講 演 会

期 日 昭和 62 年 11 月 20 日 (金) 15:10~17:00  
会 場 徳島大学工学部情報工学科 C20 教室  
演 題 IBM 東京基礎研究所における Computer Science の動向  
香田 正人 (日本 I B M)  
参加費・問合せ先 前記に同じ

## 論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)および欧文誌“Journal of Information Processing”(略称 JIP・季刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申し込みください  
郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は本号 1496 ページにあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

昭和 年 月 日

### 論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申し込みます。(該当欄を○で囲む) 会員 No. \_\_\_\_\_

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員  
連絡先 (〒 \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_

送本先 (〒 \_\_\_\_\_ )

(注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 ( \_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

b. 欧文誌 “Journal of Information Processing” ( \_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込 ( \_\_\_\_\_ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)